

令和6年5月2日 19時50分
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所

最上川水系銅山川で確認された濁水の調査結果について

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所は、最上川水系銅山川で濁水が確認されたことから、令和6年5月2日（木）14時よりへりによる現地調査を実施しました。

調査の結果下記の状況が確認されたことから、下流域に影響無いものと判断いたしました。なお、調査には流域情報に詳しく専門的知識を持った防災エキスパートも同行しました。

1. 調査工程 : 令和6年5月2日（木）14:00 山形空港発
15:00 同 空港着
2. 調査結果 : 表層崩壊1箇所が確認され河床に土砂が堆積しているが、崩壊地の下流には砂防堰堤が複数整備されており、土砂を受け止める容量が十分確保されていることから、下流域の安全に影響無いと判断しています。
* 詳細は別紙参照
3. 今後の見通し : 濁水の状況等について当面監視カメラによる監視を継続します。状況に変化あった場合には再度調査を行う予定です。

問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0256 (工務第二課)

副所長(砂防) 有路 央 (ありじ ひさし)

工務第二課長 三浦 英晃 (みうら ひであき)

最上川水系銅山川 ヘリ調査結果 概要

1. 工 程) 令和6年5月2日(木) 14:00~15:00
2. 結 果) 銅山川支川(赤沢)で表層崩壊を1箇所確認(L=100m、W=20m、H=1m程度)。
崩壊土砂が河床に堆積(2,000m³程度)しているが、水は流下している。
崩壊地の下流には砂防堰堤が複数整備済みで、土砂を受け止める容量が十分確保されていることから、下流域の安全に影響無いと判断した。
なお、調査にあたっては流域の情報に詳しく、専門的知識を持った防災エキスパートも同行した。

